



軟部腫瘍の MRI

編著 青木隆敏

軟部腫瘍と MRI 診断に造詣の深い青木隆敏先生による軟部腫瘍の MRI 診断のテキストである。序文において、「どのような所見に注目して、どのような手順で診断をすすめるべきかを認識し、鑑別診断の絞り込みを含め MRI 画像から診療に必要な画像情報を余すことなく解析できることを目標に企画した」と述べている。本書は軟部腫瘍を疾患別に解説したテキストではない。軟部腫瘍の MRI 診断をどのようにすすめるかを、青木先生独自の切り口で企画されたテキストである。

本書は4つのセクションから構成されている。

・軟部腫瘍の診断と治療にあたって

本セクションでは、正常解剖、MRI の原理、病理診断、治療方針など軟部腫瘍の MRI 診断の基本が解説されている。正常解剖に体幹部の軟部組織解剖が載せてあるのがうれしい。また、四肢の軟部組織解剖は、筋・神経・血管に直交する横断画像に絞っているが、これは青木先生ならではの判断と言える。MRI の原理、病理診断、治療方針は、初心者や専門外の読者が知識を整理するのに役立つ。

・MRI 撮像法

本セクションは平易に書かれてあり、初心者にも軟部腫瘍の MRI 検査を行ううえでの注意事項を理解するのに役立つ。

・診断のチェックポイント

本セクションは「臨床像」と「MR 診断」から成る。本書全体のほぼ半分を占めており、編者が最もこだわったセクションと考える。「臨床像」は軟部腫瘍の MRI 診断をするにあたって、鑑別診断の絞り込みに有用な臨床情報が書かれてあり、読影の度にしばしば見返す内容が詰まっている。「MR 診断」は画像所見をどう解析し推論をして行くかが、「脂肪成分を探す」「粘液状基質を探す」「膠原線維成分を探す」「flow void を有する病変」「リンパ節腫大を伴う病変」など、独自の項目立てで丁寧に書かれている。

・読影レポートの書き方

本セクションの執筆は軟部腫瘍診断のエキスパート2名が担当している。読影の専門家が普段から心がけていることや、彼らの重要なメモ書きが要領よくまとめられている。軟部腫瘍の MRI 診断を行う放射線診断医にとって必読の内容である。

本書の前半は基本的事項の知識の整理になり、後半は実践に役立つ内容となっている。特に後半は読み物としても面白い。初心者から骨軟部放射線診断を専門とする医師まで、軟部腫瘍の MRI 診断を行う全ての放射線診断医に推奨できる。

[B5 判, 292 頁, 定価 (本体 7,800 円+税), 南江堂刊]

評 福田国彦 (東京慈恵会医科大学 放射線医学講座)